

平成30年度 小幡小学校 校内研修

1 研修主題

主題：「確かな学力を身に付け、自ら考える児童の育成」
～ 追究する・深める場面での、より効果的な指導の工夫を通して ～

2 主題設定の理由

本校では、これまで県の教育の指針を受け、また学習指導要領の改訂をにらみ、平成28年度には、「小幡小授業メソッド」と名前を付け、算数科において協働学習を中心に据えた授業スタンダードの構築を進めてきた。その結果、T・Tの活用による指導方法の工夫を加え、教師の個性を發揮しつつ6年間を見通した共通の流れで授業が実践されるようになってきた。また、協働学習の場面での活動内容について、学級の特性を生かした工夫を行うことで、授業メソッドにおける児童の思考の深まりがみられ、「思考や考え方」での学力の向上がみられた。

平成29年度には、一昨年の成果と課題を踏まえ、算数科での研究に併せて国語科において並行読書を取り入れたメソッドの実践方法の検証を行い、様々な教科で実践可能な授業メソッドとして構築することで、学習全体での児童の深い学びに積極的に取り組む姿勢を育てるための研究を行ってきた。特に「めあて」のもとせ方に焦点をあてた研究を行ったことから、学習場面において、具体的な見通しをもって、課題意識をもった学習を進めることができた児童が多くなったといえる。また同時に、「めあて」と「まとめ」の整合性について図ることができた。その反面、適用問題等でその学びをうまく生かすことができない児童がいる課題もあげられた。このことから、「自立解決学習」「ペア学習・グループ学習」「全体での学び」と段階的に、対話を通して考えを深めていく、「追究する・深める」場面において、より深い学びができるように指導法を工夫する必要があると考えた。

そこで本年度は、追究する・深める場面において、より効果的な指導の検討を通して、自発的で実感を伴った学びの場を進めるべく、本題材を設定した。なお、全学年・全職員で共通して取り組みやすい算数科を主軸とし、他教科においても、算数科と併せて研究していくこととした。

3 研究のねらい

一昨年度、昨年度と構築してきた授業メソッドを進める中で、児童の「めあて」の明確化による、学習意欲の向上や継続を図りつつ、「追究する・深める」場面での、より効果的な指導方法等を工夫することで、自ら進んで学習に取り組み、対話的で深い学びのできる児童を育成する。また、授業メソッドの拡充を図ることで、これまでの算数科を主軸とした授業メソッドを、各教科に適した形にし、児童の学習意欲の向上と基礎・基本の定着を進める。

4 研究の見通し

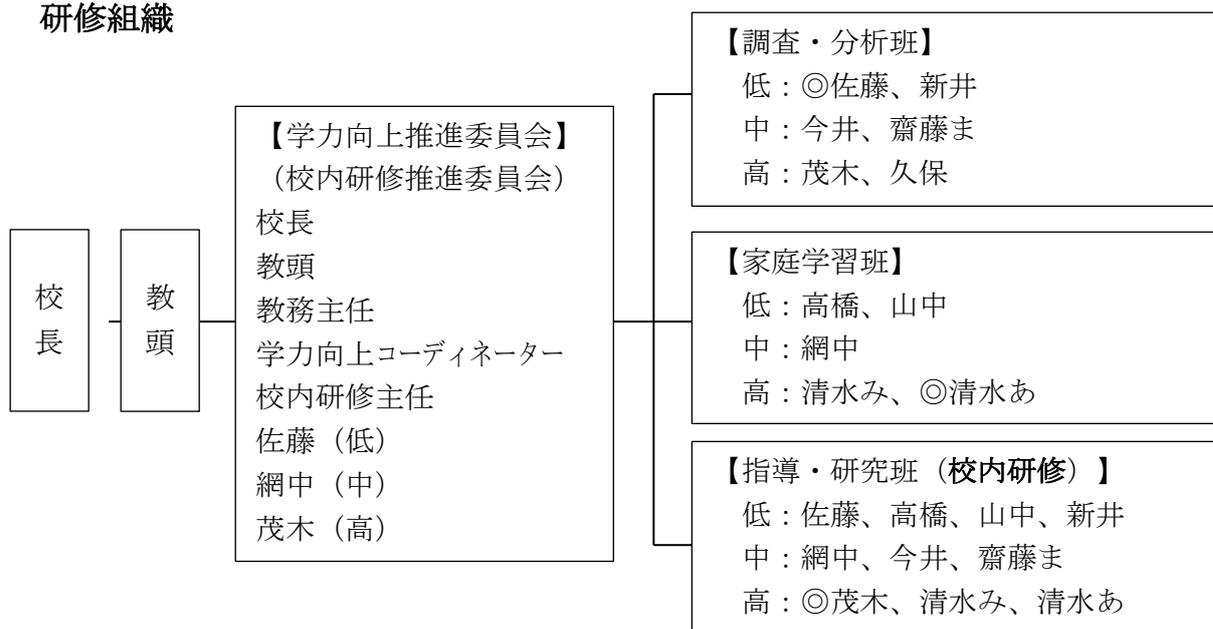
- ① 算数科において、「追究する・深める」場面に焦点化し、授業メソッドを研究することで、児童は自力解決の場面で自分の考えをしっかりともち、ペア学習やグループ学習などの対話的な学習より児童一人一人の考えの幅を広げ、学級全体での場面においてそれらの考えを確認・比較・検討等することにより深い学びが実践されるであろう。

- ② 算数科以外の教科においても、単元や内容によって、構築した授業メソッドを活用して授業を行うことで、児童が取り組みやすい学習パターンが形成され、学習意欲が向上し、基礎・基本が定着するであろう。

5 目指す児童の姿

- ・確かな学力を身につけ、意欲的に学習に取り組む児童
- ・学びを生かし、自ら考え課題を解決しようとする児童

6 研修組織



◎印は班長

※今年度、校内研修推進委員会と学力向上推進委員会を兼ねて実施する

7 研修計画

1 学期	2 学期	3 学期
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の研修の方向性についての確認 ・研修主題、組織、計画等の立案と改善 ・研修に関する資料の検討 ・提案授業と一人一授業による実践・検証 ・授業訪問 (6/22) (授業者：全教員) ・情報収集 ・先進校視察 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の研修の方向性の再検討 ・一人一授業による実践・検証 ・経営訪問 (11/14) 代表授業 ・学力向上推進事業 研究授業 (11/21) ・研修のまとめと準備 ・先進校視察 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業実践のまとめ ・研修収録の作成 ・今年度の反省と次年度への課題の確認